



平成28年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年4月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社コシダカホールディングス

コード番号 2157

URL <http://www.koshidakaholdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 腰高 博

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 土井 義人

TEL 03-6403-5710

四半期報告書提出予定日 平成28年4月14日

配当支払開始予定日

平成28年5月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年8月期第2四半期の連結業績(平成27年9月1日～平成28年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年8月期第2四半期	24,388	14.3	2,577	△ 4.7	2,481	△ 9.7	1,391	7.7
27年8月期第2四半期	21,333	21.7	2,703	34.2	2,747	32.2	1,292	8.9

(注) 包括利益 28年8月期第2四半期 1,527 百万円 (△9.8%) 27年8月期第2四半期 1,692 百万円 (33.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年8月期第2四半期	76.01	—
27年8月期第2四半期	68.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年8月期第2四半期	32,157	13,984	41.7
27年8月期	30,663	14,052	43.7

(参考) 自己資本 28年8月期第2四半期 13,401 百万円 27年8月期 13,397 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年8月期	—	15.00	—	15.00	30.00
28年8月期	—	15.00	—	—	—
28年8月期 (予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年8月期の連結業績予想(平成27年9月1日～平成28年8月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,607	12.1	4,939	12.4	5,019	11.7	2,410	14.8	130.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 有 |
| ② ①以外の変更 | 無 |
| ③ 会計上の見積もりの変更 | 無 |
| ④ 修正再表示 | 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

28年8月期2Q	19,200,000株	27年8月期	19,200,000株
28年8月期2Q	1,245,360株	27年8月期	745,360株
28年8月期2Q	18,311,783株	27年8月期2Q	18,740,377株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、海外需要の低下により企業部門の収益の伸びは一服し、不安定となった国際金融市場は将来への投資意欲を抑え、原油安と賃金増により好転が期待された個人消費も、慎重姿勢に妨げられてしまい弾みに欠けました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

【カラオケ】

将来の中核顧客層を創り続けていくために、高校生にフォーカスした新サービス「ZEROカラ」を始めました。多様なターゲット顧客層が重なりあう首都圏への集中出店、そして自社端末「すきっと」を武器としたコンテンツホルダーとの当社独自コラボレーション企画の多面的な推進、も継続しております。

社員個々のモチベーションと経営者意識の涵養を図る教育に取り組み、そして社員独立制度による独立者育成に一層力を注ぎ、独立者が運営する店舗は16店舗となりました。

韓国ではソウル周辺に直営店舗を増やし、シンガポールではスクラップアンドビルドを行い、東南アジアにおける店舗を拡充しております。

当第2四半期連結会計期間末のカラオケセグメント国内店舗数は、前連結会計年度末比21店舗増加し433店舗となり、リニューアルは13店舗行いました。海外店舗数は、23店舗（シンガポール10店舗、韓国13店舗）となっております。

この結果、カラオケセグメントの売上高は137億74百万円（前年同期比17.6%増）、セグメント利益は7億63百万円（前年同期比22.5%減）となりました。

【カーブス】

病気知らず介護要らずの人生の実現を目指し、いつまでも若々しく元気に楽しく、生涯運動を続けられる場所を提供しております。そのために、店舗網の拡充を継続すると同時に、運動習慣の無い人達に、その大切さを理解していただき、実際に運動習慣を身につけていただくことにより、会員数の継続的拡大を図っております。

店舗での運動と相乗効果の高いプロテインの会員による定期購入も順調に拡大しつつあり、会員向け物販も伸び、業容の拡大に貢献しております。

当第2四半期連結会計期間末の国内カーブス店舗数は、前連結会計年度末比45店舗増加（増加率2.8%）し1,647店舗（内グループ直営店53店舗）に、会員数は10千人増加（増加率1.4%）し721千人となりました。

この結果、カーブスセグメントの売上高は96億82百万円（前年同期比11.3%増）、セグメント利益は21億6百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

【温浴】

人材育成及びコスト管理において、カラオケ事業で培ってきた様々なノウハウを活用するとともに。固定費特に水道光熱費削減に向けて抜本的改革を行い、温浴施設経営の再生に取り組んでおります。

この結果、温浴セグメントの売上高は7億76百万円（前年同期比1.3%増）、セグメント利益は31百万円（前年同期比95百万円利益増加）となりました。

【不動産管理】

不動産管理セグメントの売上高は1億55百万円（前年同期比1.0%減）、セグメント利益は51百万円（前年同期比26.4%減）となりました。

以上により、当社グループ（当社及び連結子会社）の当第2四半期連結累計期間の売上高は243億88百万円（前年同期比14.3%増）、営業利益25億77百万円（同4.7%減）、経常利益24億81百万円（同9.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億91百万円（同7.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ14億94百万円増加し、321億57百万円（前連結会計年度末比4.9%増）となりました。

（流動資産）

流動資産は1億71百万円増加し116億20百万円（同比1.5%増）となりました。これは主に、商品が2億63百万円増加したことなどによるものです。

（固定資産）

有形固定資産は15億53百万円増加し138億77百万円（同比12.6%増）となりました。これは主に、建物及び構築物が10億13百万円および車両運搬具及び工具器具備品が7億4百万円増加したことなどによるものです。

無形固定資産は4億56百万円減少し26億34百万円(同比14.8%減)となりました。これは主に、のれんが3億59百万円減少したことなどによるものです。

投資その他の資産は2億25百万円増加し40億25百万円(同比5.9%増)となりました。これは主に、長期貸付金が1億92百万円、敷金及び保証金が1億23百万円増加した一方で、繰延税金資産が72百万円減少したことなどによるものです。

固定資産の総額は13億22百万円増加し205億36百万円(同比6.9%増)となりました。

(流動負債)

流動負債は2億39百万円増加し102億70百万円(同比2.4%増)となりました。これは主に、一年内返済予定の長期借入金金が4億40百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が2億14百万円減少したことなどによるものです。

(固定負債)

固定負債は13億22百万円増加し79億3百万円(同比20.1%増)となりました。これは主に、長期借入金が13億51百万円増加したことなどによるものです。

負債の総額は15億62百万円増加し181億73百万円(同比9.4%増)となりました。

(純資産)

純資産は67百万円減少し139億84百万円(同比0.5%減)となりました。これは主に、自己株式が11億18百万円および利益剰余金が11億15百万円増加した一方で、非支配株主持分が70百万円減少したことなどによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末と比較して6億88百万円の減少(前年同期は3億81百万円の増加)となり、54億53百万円(前年同期は56億94百万円)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、20億31百万円の資金増加となりました。前年同期は30億19百万円の資金増加であり、9億88百万円資金増加額が減っております。これは主に、減価償却費が4億68百万円増加した一方で、たな卸資産の増加額が3億86百万円、法人税等の支払額が3億47百万円増加し、消費税の支払等によりその他が6億41百万円減少したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、28億84百万円の資金減少となりました。前年同期は14億36百万円の資金減少であり、14億47百万円資金減少額が増えております。これは主に、有形固定資産の取得による支出が13億21百万円増えたことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、1億73百万円の資金増加となりました。前年同期は11億91百万円の資金減少であり、13億64百万円資金増加額が増えております。

これは主に、長期借入れによる収入が18億62百万円増えたことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年10月13日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(会計方針の変更・会計上の見積もりの変更・修正再表示)

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,187,438	5,503,921
受取手形及び売掛金	2,258,528	2,422,893
商品	732,145	996,097
原材料及び貯蔵品	188,536	225,269
繰延税金資産	308,724	242,689
その他	1,804,508	2,269,962
貸倒引当金	△31,052	△40,110
流動資産合計	11,448,828	11,620,723
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,092,247	9,105,382
車両運搬具及び工具器具備品(純額)	1,966,641	2,671,517
土地	1,965,917	1,965,917
リース資産(純額)	169,820	114,652
建設仮勘定	129,137	19,544
有形固定資産合計	12,323,765	13,877,014
無形固定資産		
のれん	2,082,803	1,722,833
ソフトウェア	1,001,208	906,960
その他	6,922	5,027
無形固定資産合計	3,090,934	2,634,821
投資その他の資産		
投資有価証券	494,808	470,588
関係会社株式	28,637	28,637
長期貸付金	400,097	592,270
長期前払費用	87,598	73,867
敷金及び保証金	2,476,787	2,600,401
繰延税金資産	287,888	215,293
その他	38,596	58,326
貸倒引当金	△14,591	△14,262
投資その他の資産合計	3,799,822	4,025,122
固定資産合計	19,214,522	20,536,958
資産合計	30,663,351	32,157,682

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,830,734	1,616,175
1年内返済予定の長期借入金	2,231,512	2,671,912
リース債務	69,927	56,644
未払金	1,110,216	1,141,176
未払費用	925,993	1,015,954
未払法人税等	1,021,373	1,149,189
賞与引当金	223,125	222,298
預り金	1,549,419	1,589,177
その他	1,067,798	807,475
流動負債合計	10,030,101	10,270,004
固定負債		
長期借入金	5,122,004	6,473,629
リース債務	122,516	79,420
繰延税金負債	167,336	66,886
資産除去債務	925,551	1,071,050
その他	243,650	212,202
固定負債合計	6,581,059	7,903,189
負債合計	16,611,161	18,173,194
純資産の部		
株主資本		
資本金	493,600	493,600
資本剰余金	483,600	483,600
利益剰余金	13,480,094	14,595,178
自己株式	△1,200,797	△2,319,297
株主資本合計	13,256,497	13,253,080
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,195	27,151
為替換算調整勘定	114,203	120,886
その他の包括利益累計額合計	141,399	148,037
非支配株主持分	654,292	583,369
純資産合計	14,052,190	13,984,487
負債純資産合計	30,663,351	32,157,682

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)
売上高	21,333,640	24,388,797
売上原価	15,499,098	17,974,974
売上総利益	5,834,542	6,413,822
販売費及び一般管理費	3,131,217	3,836,542
営業利益	2,703,325	2,577,279
営業外収益		
受取利息及び配当金	12,390	7,381
為替差益	13,956	—
その他	50,136	37,814
営業外収益合計	76,483	45,196
営業外費用		
支払利息	22,605	13,475
為替差損	—	99,658
その他	9,339	28,068
営業外費用合計	31,944	141,203
経常利益	2,747,864	2,481,272
特別利益		
固定資産売却益	6,285	97,353
特別利益合計	6,285	97,353
特別損失		
固定資産除却損	98,756	33,201
減損損失	75,833	3,451
店舗閉鎖損失	82,186	—
特別損失合計	256,776	36,653
税金等調整前四半期純利益	2,497,372	2,541,972
法人税、住民税及び事業税	997,741	979,428
法人税等調整額	79,200	41,563
法人税等合計	1,076,942	1,020,992
四半期純利益	1,420,430	1,520,979
非支配株主に帰属する四半期純利益	128,145	129,076
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,292,284	1,391,902

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)
四半期純利益	1,420,430	1,520,979
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,613	△44
為替換算調整勘定	241,797	6,682
その他の包括利益合計	272,410	6,637
四半期包括利益	1,692,841	1,527,617
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,564,695	1,398,540
非支配株主に係る四半期包括利益	128,145	129,076

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,497,372	2,541,972
減価償却費	1,069,889	1,538,381
減損損失	75,833	3,451
のれん償却額	125,667	232,601
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,888	△827
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,729	8,729
受取利息及び受取配当金	△12,390	△7,381
支払利息	22,605	13,475
有形固定資産売却損益(△は益)	△6,285	△97,353
固定資産除却損	98,756	33,201
売上債権の増減額(△は増加)	△314,493	△164,634
たな卸資産の増減額(△は増加)	84,083	△302,030
仕入債務の増減額(△は減少)	△60,830	△210,700
その他	450,241	△190,960
小計	4,044,069	3,397,926
利息及び配当金の受取額	12,390	7,381
利息の支払額	△22,605	△13,068
法人税等の支払額	△1,013,957	△1,361,012
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,019,896	2,031,228
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,261,965	△2,582,966
有形固定資産の売却による収入	7,744	99,715
無形固定資産の取得による支出	△85,690	△57,197
投資有価証券の取得による支出	—	△82
投資有価証券の売却による収入	484	2,746
非連結子会社株式への出資による支出	△31,537	—
敷金及び保証金の差入による支出	△115,960	△156,476
敷金及び保証金の回収による収入	40,905	7,457
貸付けによる支出	△2,503	△218,102
貸付金の回収による収入	15,681	26,451
定期預金の増減額(△は増加)	△1,197	△1,202
その他	△2,850	△4,803
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,436,890	△2,884,461

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,200,000	3,062,914
長期借入金の返済による支出	△1,001,556	△1,249,069
リース債務の返済による支出	△1,046	△41,416
自己株式の取得による支出	△900,658	△1,118,500
配当金の支払額	△287,995	△280,494
非支配株主への配当金の支払額	△200,000	△200,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,191,256	173,434
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,114	△8,595
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	381,636	△688,394
現金及び現金同等物の期首残高	5,169,807	6,142,225
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	143,399	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,694,842	5,453,830

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年12月15日開催の取締役会において、平成27年11月26日開催の当社第46回定時株主総会における「特定の株主からの自己株式取得の件」に関する特別決議の内容に従い、会社法第157条第1項及び第2項の規定に基づき、自己株式を取得する日等を決議し、平成28年1月21日に下記のとおり自己株式を取得いたしました。

取得対象株式の種類	当社普通株式
取得した株式の総数	500,000株
取得価額の総額	1,118百万円(1株2,237円)
取得方法	市場外における相対取引

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年9月1日至平成27年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	カラオケ	カーブス	温浴	不動産管理	計			
売上高								
外部顧客への売上高	11,712,288	8,696,998	766,878	157,475	21,333,640	21,333,640	-	21,333,640
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	11,712,288	8,696,998	766,878	157,475	21,333,640	21,333,640	-	21,333,640
セグメント利益又は セグメント損失(△)	985,270	2,051,796	△63,371	69,832	3,043,528	3,043,528	△340,203	2,703,325

(注) 1. セグメント利益の調整額△340,203千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結会計期間において認識した重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間より、「カラオケ」セグメントにおいて、KOSHIDAKA INTERNATIONAL PTE. LTD.、KOSHIDAKA MANAGEMENT SINGAPORE PTE. LTD.、K BOX ENTERTAINMENT GROUP PTE. LTD.、他9社を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、1,143,210千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成27年9月1日至平成28年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	カラオケ	カープス	温浴	不動産管理	計			
売上高								
外部顧客への売上高	13,774,307	9,682,107	776,468	155,913	24,443,381	24,388,797	—	24,388,797
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	13,774,307	9,682,107	776,468	155,913	24,443,381	24,388,797	—	24,388,797
セグメント利益又は セグメント損失(△)	763,627	2,106,939	31,742	51,396	2,953,706	2,953,706	△376,427	2,577,279

(注) 1. セグメント利益の調整額△376,427千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結会計期間において認識した重要な減損損失はありません。